

特集

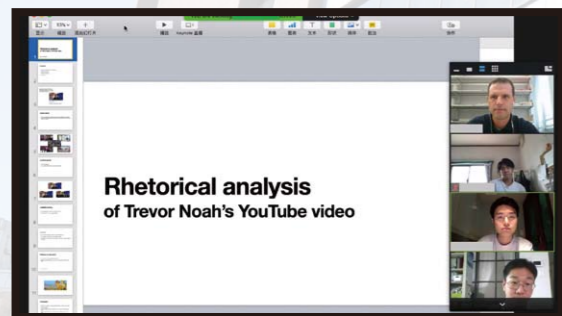
日法のオンライン授業

コロナ禍における日法の学修支援
小田司 法学部長



【第10回講義のテーマ】
社会契約説とは何か？

【授業内課題】
テキストやスライドを参考にしながら、これまでの講義を復習してください。そのうえで、「個人」が社会を形成することの意味を考察してください。

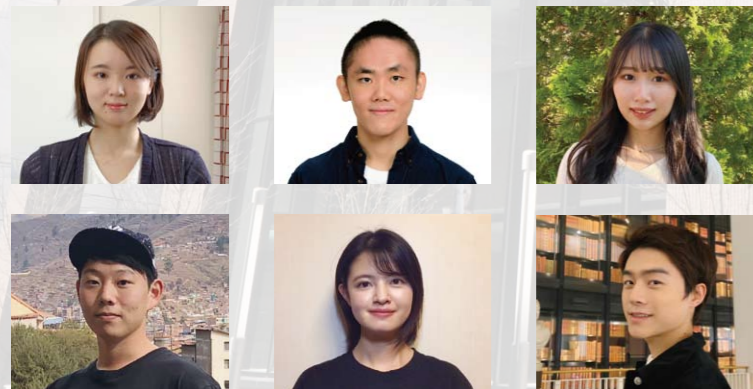


本日の授業内容

- ・経営学とはなにか？
- ・経営学を学ぶことの意義はなにか？

考えてみよう！(1)

- ▶ ビジネスにおいて「最も重要なことはなにか」と聞かれたらどのように答えるだろうか？
- ▶ 経営学と法学はどのように関係しているだろうか？



在校生に聞く コロナ禍の学生生活

就職指導課の新たな取り組み 2020年度 新任教員紹介

特集

日法のオンライン授業〜コロナ禍における日法の学修支援〜

2020 October ▶ 2021 March

日本大学法学部 Event Schedule

10月～3月

就職指導課		教務課	研究事務課
		大学院事務課	入学センター
10 October	～10月12日(月)	1年生キャリアプランガイダンス③ 2年生キャリアプランガイダンス③	10月 4日(日) 日本大学創立記念日
	10月 1日(木)・7日(水)	自分の立ち位置確認セミナー	10月 5日(月)・6日(火) 履修登録中止期間(後学期開講科目) 教
	10月上旬～下旬	SPI3対策講座(10月コース)	10月 8日(木) 第4回法務研究科進学相談会(オンライン開催) 関
	10月 8日(木)	就職四季報ガイダンス 秋冬インターンシップガイダンス	10月11日(日) 日本大学ワールド・カフェ 教
	10月 9日(金)	自分に合った企業・職種見つけ方セミナー	
	10月14日(水)	自己PR・志望理由の作り方セミナー	
	10月15日(木)	R-CAPテスト★	
	10月22日(木)	業界研究セミナー ①(基礎編)	
	10月29日(木)	業界研究セミナー ②③(応用編)	
	11 November	11月 4日(水)・10日(火)	日経講座「ビジネスの基本」★
11月 5日(木)		2年生のためのES攻略ガイダンス基礎編★	11月 3日(火・祝) Webオープンキャンパス 入
11月 6日(金)		業界研究セミナー ④⑤(応用編) TOEIC講演会	11月 7日(土) Web版保護者面談 教
11月12日(木)		R-CAP解説会	11月12日(木)・13日(金) ゼミナール入室申込期間(2年次生対象) 教 ※第一部・第二部ともに、11月12日(木)10:00～13日(金)19:00まで。
11月～12月		業界・企業・職種研究セミナー	11月14日(土) 第4回定期無料法律相談会(予定) 関
			11月19日(木) 第5回法務研究科進学相談会(オンライン開催) 関
			11月23日(月・祝) 「勤労感謝の日」は平常どおり授業を実施 教
			11月26日(木)～12月 2日(水) ゼミナール入室試験(2年次生対象) 教
12 December	12月 3日(木)	エントリーシート攻略テスト★	12月上旬～1月中旬 1年生英語一斉テスト 教
	12月上旬	1年生キャリアプランガイダンス ④ 2年生キャリアプランガイダンス ④	12月19日(土) 第5回定期無料法律相談会(予定) 関
	12月上旬～下旬	SPI3対策講座(12月コース)★ 公務員業務説明会	12月28日(月)～1月11日(月・祝) 冬季休業 教
	12月中旬	面接対策講座	
1 January	1月～	※以降のイベントはポータルシステムでお知らせします。 第3回総合就職ガイダンスをはじめ、エントリーシートの書き方、筆記試験対策、面接対策、企業研究セミナー等を実施予定です。	1月12日(火) 授業開始 教
			1月14日(木)～29日(金) 令和3年度転部(第一部、第二部間)・転科選考出願期間 入
2 February			1月15日(金)・16日(土) 補講期間 教
			2月 2日(火) 4年次生成績発表 ※WEBにて発表。 教
			2月13日(土) 第6回定期無料法律相談会(予定) 関
			2月16日(火)・17日(水) 再試験(4年次生) 教
3 March			2月24日(水) 1～3年次生成績発表 ※WEBにて発表。 教
			3月11日(木) 令和3年度転部(第一部、第二部間)・転科選考合格発表 入
			3月25日(木) 日本大学卒業式・学位記伝達 教
随時開催	内定者による就職支援プログラム 就職指導課員による特別講座 オンラインによる個別相談	各行事についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。 教 就職指導課 shushoku.law@nihon-u.ac.jp 教 教務課 kyomu.law@nihon-u.ac.jp 関 研究事務課 kenjimu.law@nihon-u.ac.jp 関 大学院事務課 daigakuin.law@nihon-u.ac.jp 入 入学センター nyugaku.law@nihon-u.ac.jp	

※ ★印は有料で事前申込が必要。

期間中の各イベントは、今後の新型コロナウイルス感染防止により中止または延期となる場合があります。その際は法学部ホームページ、ポータルシステム等でお知らせします。なお、11月に予定しておりました法桜祭、ホームカミングデーは、新型コロナウイルス感染防止に伴い中止といたします。

コロナ禍における日法の学修支援

世界的な新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の困難に直面する今年、大学への入構禁止、オンラインでの授業など、さまざまな対策に奔走してきた小田法学部長に、これまでとこれからの法学部の取り組みを伺うとともに、今号では5人の先生のオンライン授業、学生たちのコロナ禍での日常を伝えます。



緊急事態宣言下の前学期入学式なども中止に
今年度の前学期は、新型コロナウイルスの感染拡大という、厳しい状況の中でのスタートでした。4月7日に政府の緊急事態宣言が発令されたことに伴い、学生も教職員も大学への入構が禁止されましたので、入学式や開講式などの行事が中止となり、サークル活動も禁止。4月中は授業も始められず、連休明けの5月11日からオンラインでの授業を開始しました。

オンライン授業でも質の高い授業を提供する
オンライン授業は、我々教員にとっても初めてのことで、学務委員会の若い先生方を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、約1ヶ月で準備を整えました。これまでの対面授業と変わらぬ質の授業を提供できるよう努力を重ねました。

オンライン授業は、我々教員にとっても初めてのことで、学務委員会の若い先生方を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、約1ヶ月で準備を整えました。これまでの対面授業と変わらぬ質の授業を提供できるよう努力を重ねました。



授業やゼミナール、オフィスアワーなど、学部長室から小田学部長が自らZoomで発信している

1年生の通学を検討
後学期も、原則オンライン授業を継続していますが、ゼミナールなど少人数の授業では対面授業を行っています。図書館も前学期の途中から予約入替制で利用できるようにしました。

1年生の通学を検討
後学期も、原則オンライン授業を継続していますが、ゼミナールなど少人数の授業では対面授業を行っています。図書館も前学期の途中から予約入替制で利用できるようにしました。

1年生の通学を検討
後学期も、原則オンライン授業を継続していますが、ゼミナールなど少人数の授業では対面授業を行っています。図書館も前学期の途中から予約入替制で利用できるようにしました。

1年生の通学を検討
後学期も、原則オンライン授業を継続していますが、ゼミナールなど少人数の授業では対面授業を行っています。図書館も前学期の途中から予約入替制で利用できるようにしました。

みんなで力を合わせて コロナ禍を乗り越えましょう

法学部長 小田 司

学部長オフィスアワー

日程 10月29日(木)、11月12日(木)、12月10日(木)
時間 14:00~16:00 Zoomによるオンライン方式
申込 メールにて(www-adm.law@nihon-u.ac.jp)、希望日の3日前までに。メールの件名は「学部長オフィスアワー申込み」、本文に希望日時、学年・学科・学生番号・氏名、希望する対話の内容の概要を記載。予約完了後、申込者にURL等返信。
問合せ:庶務課 03-5275-8501 (平日9:00~18:00 土曜9:00~13:00)

もちろん、対面授業でないといけないことはたくさんあります。授業だけではなく、校舎にきて友達と青春を謳歌するのも大学生活の楽しさですから、そういう日が早く来てほしいと願っています。まだ先の状況は見えませんが、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。

もちろん、対面授業でないといけないことはたくさんあります。授業だけではなく、校舎にきて友達と青春を謳歌するのも大学生活の楽しさですから、そういう日が早く来てほしいと願っています。まだ先の状況は見えませんが、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。

もちろん、対面授業でないといけないことはたくさんあります。授業だけではなく、校舎にきて友達と青春を謳歌するのも大学生活の楽しさですから、そういう日が早く来てほしいと願っています。まだ先の状況は見えませんが、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。

や、オンライン授業開始に伴う学修環境補助費3万円の支給、パソコンの無償貸与などを行いました。さらに、法学部校友会から経済困窮学生対象の特別支援金1千万円をご支援いただきましたので、法学部独自の奨学金として活用しています。

後学期の各種行事について

- 11月の学部祭「法桜祭」、「ホームカミングデー」は中止とさせていただきます。
- 「法学部保護者面談」はガイダンスの動画配信やZoomでの個別面談による「Web版保護者面談」として11月7日に開催。個別面談は1年生の保護者を優先します(申込みは締切)。

心の相談

通学できないことによる孤独感や、コロナ禍の長期化による憂鬱な気持ち、経済的な悩みなど、カウンセラーによる相談を行っています。

学生支援相談窓口 gakusei.law@nihon-u.ac.jp

法学部図書館の利用について

事前予約制(入館人数状況によっては当日利用も可能)。時間毎に入館できる人数を制限し、時間毎の全フロア総入れ替え制となります。利用の際は、本の貸出し、返却での利用を原則とし、長時間の滞在や自習等の利用はできません。

【利用時間】

- ①10:00~11:30、②12:00~13:30、③14:00~15:30、④16:00~17:30、⑤18:00~19:30(2階メディア教育センター除く)

※事前予約は前日18時まで。来館利用予約申込書は法学部HP「図書館」から。

キャンパスへの入構について

後学期は一部施設と事務窓口については感染防止策を講じたうえで利用できます。「(日本大学健康観察システム)への記録、マスク着用、入構時の手指の消毒および検温」。対面授業の受講者はポータルシステムの「面接授業受講ガイドライン」に従ってください。

窓口事務取扱い

教務課、学生課は、平日9時~17時、土曜9時~13時に窓口対応を行います。入館は本館東口からのみ、マスク着用。教務課での各種証明書発行は自動発行機も利用できますが郵送も可。郵送申請はポータルシステムの申請フォームから。

オンライン授業に伴う支援

パソコンの無償貸与
授業を受講するためのパソコンやタブレット端末を用意できない学生には、前学期に続きノートパソコンを無償で貸与。これまでに延べ568台を貸出し。

学修環境補助費
オンライン授業を受けるためのインターネットなどの学修環境を整えるための補助費を全学生に一律3万円支給しました。

オンライン授業サポートセンター
GoogleやZoomなどの使い方や不具合の質問等のための「オンライン授業サポートセンター」を後学期も引き続き開設します。

GO TO ニチホウ応援キャンペーン

法学部校友会の協力を得て、対面授業、ゼミナール、研究発表、就職活動で宿泊が必要な学生に、指定の宿泊施設の1泊1000円、連泊10000円まで補助します。各ホテル・ゲストハウスの特別協賛による特別割引+GO TOトラベル割引+校友会補助により格安で宿泊できます。

【期間】 2020年10月1日~2021年1月31日

【宿泊方法】 インターネットで各施設の宿泊サイトから申し込み。予約時に法学部の学生であることを伝え、チェックイン時には学生証の提示が必要。

【対象施設】 ホテルメトロポリタンエドモンド(飯田橋)、ホテルグランドパレス(九段下)ほか全9施設。

※各施設の予約先、宿泊料金など詳細は法学部HPにて。

新型コロナウイルス 感染拡大に伴う

法学部の取り組み 後学期

前学期は入構禁止が続きましたが、後学期は、感染対策を万全にしつつ徐々に規制が緩和されてきました。各情報の問合せ先、詳細は、総合ポータルシステム、法学部HPで最新情報をご確認ください。

【第10回講義のテーマ】
社会契約説とは何か?

「個人」や「擬制」(fiction)といった概念を材料として、社会契約説という政治思想の本質的な特徴について考える。

【授業内課題】
テキストやスライドを参考にしながら、これまでの講義を復習してください。そのうえで、「個人」が社会を形成することの意味を考察してください。

最後に「授業内課題」。「重要なことは、知識を習得する以上に、政治的事象を規範的に考える知的態度を身につけること」と先生。

「西欧政治思想史I」の第10回のテーマは「社会契約説とは何か?」


社会統合の新たな条件
【社会が成立するための条件】
主権的個人による主体的参加を通じた承認
矛盾と対立の危険がある自由と統合の両立

「社会契約」(social contract)
・人間の平等という前提
・共通の目的や理想の存在
・独立した個人を結ぶ「契約」の必要
・「擬制」(fiction)の肯定

⇒ 国家 = 個人の行動による共同体

受講生から


講義の要点がスライドでビジュアル化され、先生の話し方もゆっくりで聞きやすく、さらに理解しやすくなりました。オンデマンドなので就職活動で夜しか時間が取れないときも受講できてよかったです。
政治経済学科4年 金山玲さん




個人報告後の質疑応答(ディスカッション)の様子。これまでの受講生による個人報告は、「コロナ禍における新しい生活様式の受容」、「ディズニー映画におけるプリンセスの表象」、「性犯罪被害者と家族の関係」、「テレビドラマ・映画のLGBTQ像」、「発達障害の診断と恣意性」など。3年生以上を対象とした科目だが、聴講生として1、2年生も複数人Zoomにやってくる。

受講生から

法学部には少ない総合科目の演習科目で、少人数なので自分の思考を広く深められると考えて受講しました。先生が一人ひとりに丁寧に向き合ってください。他学科の学生の多様な発表を聞いたのも有意義でした。
新聞学科3年 渡邊心さん



西欧政治思想史 I

政治経済学科 杉本竜也 准教授

オンデマンド方式 火曜2限
受講者数145名(2年生51名、3年生72名、4年生22名)

この授業のテーマは?
「西欧政治思想史I」は、古代から現代に至る西洋の政治思想を、歴史的文脈に沿って学修していきます。また、政治思想の適切な理解にはそれが生まれた背景の把握が重要であるため、その思想が生まれた時代の政治的・社会的状況にも注目しながら学修を進めます。最終的には、政治学が本来は規範的な学であり、究極的には人間の尊厳をめぐる学であることを、学生の皆さんに理解してもらおうことを目指しています。

オンデマンドの最大のメリットは、学生が自分のペースで学修することができる点にあると考えます。そもそも、大学は、個人が主体的に自らの関心分野についての学びを深めていく場です。その点で、意欲のある学生にとっては、オンライン授業は通常の対面授業以上に有効な学修・研究なのかもしれません。実際、今年度は、例年以上に学生からの建設的な意見や的を射た質問が多く寄せられています。

学生へのメッセージ
とても特殊な環境の中、多くの苦勞をされていると思います。外的な条件を変えることはできませんが、自分の主体性で事態を少しでも前向きな方向に変えられる部分もあります。無理をし過ぎない程度に、がんばってください。

オンライン授業について
オンデマンド授業では学生と直接的にコミュニケーションを取ることができません。そのため、通常の対面授業と比較して、より丁寧に、よりじっくりと講義するように努めています。

教養演習 II A

総合 香川七海 助教

ライブ(同時双方向)方式 月曜4限
受講者数11名(3年生9名、4年生2名)、聴講生16名

この授業のテーマは?
社会学や障害学の分野で近年注目されている当事者研究の発想をベースとして授業を進めています。当事者研究とは、自分自身の当事者性(=主観)を起点として、多様な社会問題について検討するという研究方法です。まずは、自分自身の主観にきっちり向き合ってから、そこを起点に、自分自身の認識の「こだわり」を再検討していくというプロセスを授業の基本としています。

程度で発表したあと質疑応答となります。ときには授業後に希望者がZoom内に残って2時間くらい議論が続きます。

オンライン授業のメリットのひとつは、聴講生が増えたことです。基本的にClassroomに登録するだけで受講が可能ですから、自分に関心のあるテーマのときだけでも参加したいという学部生が増えたことは、ありがたいです。

学生へのメッセージ
オンライン授業になって教員と学生の距離が驚くほど近くなったように思います。ClassroomやGoogleフォームで簡単に質問もできるようになりました。対面授業ができなくなって、失ったものには確かに多いと思いますが、得たものにも注目しつつ、あと少し、大学が通常通りに戻るのを待ちましょう。

オンライン授業について
授業はZoomを使ったライブ方式で、受講者の個人報告を通して進みます。受講者は身近な出来事から、気になること、違和感を覚えることなどを探し、それをレジュメにまとめて報告を行います。個人報告は90分授業で2人、各人40分

日法のオンライン授業


学生の皆さんの健康と安全、そして学修の確保のため、5月からスタートしたオンラインによる授業。withコロナの時代に、これまでと変わらぬ学修成果が得られるよう取り組んでおります。5人の先生のオンライン授業の様子をご紹介します。

●オンライン授業の種類

オンデマンド方式
あらかじめ収録した動画を配信。多くが講義の要点をまとめたスライドや参考資料に教員の音声ののせたスタイル。学生は、いつでも、どこでも、何度でも見る事ができる。

ライブ(同時双方向)方式
WEB会議ツール「Zoom」などを使ってリアルタイムで授業を行う。教員と学生がPC画面を共有し、互いの顔を見ながら課題の発表や意見交換をする同時双方向の授業。

※授業データに記載した授業実施日、受講生数は前学期授業の実績です。



社会保障法I
第10回 雇用保険②
担当：橋爪 幸代

「社会保障法I」の第10回は雇用保険の給付について、支給額や支給期間、さらに高齢雇用継続給付、育児休業給付金を講義。

講義のスライドには新聞記事や制度のシステムをビジュアル化したものも交え、わかりやすく伝えます。

父親の育児休業取得の促進
0 育児休業取得の促進
1 育児休業取得の促進
2 育児休業取得の促進

本日の「テスト付き課題」
では、Google Classroomに参加して、「テスト付き課題」にチャレンジしていきましょう。平常授業の資料となります。また、本日の講義を聞いて、質問や意見(考えたこと)があれば、書いてください。〆切は、7月17日(金)18:00です。
結果は、次回、講義の最初にフィードバックします。

授業の最後にはGoogle Classroomを使っての「テスト付き課題」や本日の講義を聞いての質問や意見を求める。

次回の授業冒頭で前回のフィードバック
受講生からのさまざまな意見を解説付きで紹介。アンケートのグラフ化から学生たちのリアルな思いが浮かび上がる。

新聞資料1 (定年後の働き方)
・定年後も必要とされる人材にならないといけないと感じ、今までは定年後まで働き続けようと考えていましたが、その先の人生をどう過ごすか真剣に考える必要が出てきました。
・働き方の多様化が進んでいる昨今ですらフリーランスやテレワークなどの新しい働き方が生まれています。まして定年後にはどのような働き方があるか想像もできないが、それらに似たような定年後の働き方などの働き方が生まれているから先に社会保険のアンテナを立上げておかなければいけないと感じました。

何歳まで働きたいですか
18 10%
20 10%
25 20%
30 30%
35 20%
40 10%

ゼミナールはライブ方式で
前学期は法学部の各先生のゼミナールもオンラインのライブ方式で実施された。橋爪先生は、Zoomのブレイクアウトルームを使用したグループワークを基本とした。グループで政策課題を探し、政策提案のプレゼンをし、それに対する質疑応答を展開した。



社会保障法 I

法律学科 橋爪幸代 教授

オンデマンド方式 金曜2限
受講者数88名(3年生48名、4年生40名)

この授業のテーマは?
「社会保障法I」では、医療保険、労災保険、雇用保険、年金保険の4つの社会保険制度を中心に学びます。これらの制度を学んだうえで、現代社会における課題を知り、その問題を解決するための施策について考えることで、問題解決能力を磨くことを目的とします。

オンライン授業について
学生の「考える力」を磨くためにも、社会における課題について考えたことを共有し、それらを多角的な視点から捉えることが重要だと考えています。対面授業では他の学生との意見交換などが可能ですが、オンデマンドではそれが難しいため、毎回、受講生の「考え」を聞くようなアンケートや、新聞資料を素材とした

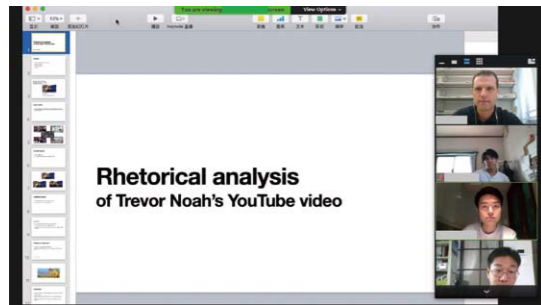
問いを設け、意見を集め、それを次週の授業でシェアし、フィードバックをしています。

アンケート等はGoogle Classroomで行いますが、通常の授業よりも学生からの質問や意見が多く寄せられます。また、それらを個別に対応するだけでなく、全体の傾向をグラフ化して提供することで、私自身も受講生の理解度を把握しやすくなり、フィードバックに反映できるようになりました。

学生へのメッセージ
今まで普通にできていたことが、できない。それが辛い方も多いと思います。このような環境でも、楽しんで学ぶを深められるよう共に考えたいと思いますので、一緒にがんばりましょう。

受講生から
橋爪先生は課題に対するフィードバックがとても丁寧で、学生と近い距離感で接してくれます。通常の授業より課題が多くてたいへんですが、時間割に縛られずに受講できるのはオンデマンドならではの良さだと思います。
法律学科3年 佐治夏夏さん





前学期最後のZoomでのパワーポイントプレゼンテーションより。少人数グループで6~8分のプレゼンテーションを作成する。この回のテーマは、米国で人気のある2つのトークニュース番組。ひとつは保守的な番組、もうひとつはリベラル寄りの番組で、この2つの対照的な番組の内容を概要して、修辞分析したものを発表する。

受講生から
授業は全部英語、そして実社会に関わるテーマを英語で意見交換するなど、自分の英語実践能力を上げるため有意義だと受講しました。読む、書く、聞く、話すの4つのスキルをバランスよく鍛えられます。
経営法学科2年 王イチシンさん



国際研修 I

外国語科目 / 英語 ジェルソ ジョー 助教

ライブ(同時双方向)方式 火曜3限
受講者数6名(1年生3名、2年生2名、4年生1名)

この授業のテーマは?

「国際研修I」は留学を目指す学生のための準備クラスです。今年参加した6名も、オーストラリア、UK、フィンランドなど、さまざまな国への留学を予定しています。授業はすべて英語で行われ、アメリカの大学でよく使われているライティングとコミュニケーションシラバスを使用します。私が2018年まで米国アイオワ州立大学でライティングコースを担当していたので、海外のライティングクラスがどのようなものかを体験することができます。

オンライン授業について

今年はさまざまなオンラインのツールを使って授業をしています。Zoomでのクラスディスカッションや少人数のグループチャット、ライティングの課題は

Google Classroomを介したGoogleドキュメントを利用。たとえばニュースビデオを見て、英語でそのニュースの概要を書き、修辞分析をして提出し、私が一人ひとりにフィードバックを書きます。また、パワーポイントとZoomを使用したプレゼンテーションに取り組み、それを記録してオンデマンドで配信するという経験も積んでいきます。

学生へのメッセージ

大学でオンラインでのコミュニケーションを経験することは、社会に出るための良い準備になります。グローバルな社会では、テレビ会議で英語でプレゼンテーションができることはとても役立つスキルです。今日の状況は簡単ではありませんが、あらゆる困難に適応して課題に挑戦してください。

本日の授業内容

「経営学とはなにか?」「経営学を学ぶことの意義はなにか?」

経営学の様々な側面(1)
企業は人間生活に不可欠な商品やサービスを提供する存在である
⇒社会的存在
企業は利益を生み出さなければ存続できない
⇒経済的存在

売上高 - コスト = 利益

経営学の様々な側面(1)
企業は人間生活に不可欠な商品やサービスを提供する存在である
⇒社会的存在
企業は利益を生み出さなければ存続できない
⇒経済的存在

売上高 - コスト = 利益

事前に穴埋め式のプリントを配布。動画を視聴しながら、要点を自分で記入していくことで理解が深まる。

授業で提示される任意課題「考えてみよう!」。とくに決まった正解はなく、自分ならどう考えるかを問われる。

受講生から
鈴木先生の課題は「自分が〇〇だったらどうするか」という形で出題されることが多く、私にとっては自分の興味や思いを表現できる場になり、とても楽しく取り組むことができました。
公共政策学科1年 岡ひなのさん



経営学 I

経営法学科 鈴木貴大 専任講師

オンデマンド方式 火曜3限
受講者数305名(1年生218名、2年生40名、3年生27名、4年生20名)

この授業のテーマは?

「企業の役割・存在意義はなにか」、「企業を取り巻く諸問題にはどのようなものがあるのか」を念頭に、経営学に関するさまざまな概念・考え方を理解することを目的とします。

オンライン授業について

オンデマンドの授業で、全15回のうち2回は課題提示方式による個人演習(小テスト)、さらにGoogleフォームを用いて、課題レポートの提出や毎週授業で提示する「考えてみよう!」をリアクションペーパーで任意提出します。

課題レポートは採点后すべての履修者に返却、リアクションペーパーは提出期限の翌日にすべて返却します。これは「課題がしっかりと提出できているのか分からない」といった学生の疑

問を払拭するためです。また、こまめに提出物を返却することで、学生にとってはモチベーションの継続となり、改善点を考える機会になると思います。

オンライン授業は、遠方の学生、通学が困難な学生でも他の学生と同様に授業を受けることができます。授業動画が残るため、理解度に合わせて復習ができるのもメリットです。また、履修者の多い大講堂などでは座る位置によってスライドが見えにくい、声が聞こえにくいなどが生じるので、オンラインの方が授業の見やすさ、聞き取りやすさは長けていると考えます。

学生へのメッセージ

「人間万事塞翁が馬」。たいへんな経験、辛い経験が後々、財産や糧になると信じて、共にがんばりましょう!

法学部の就職力

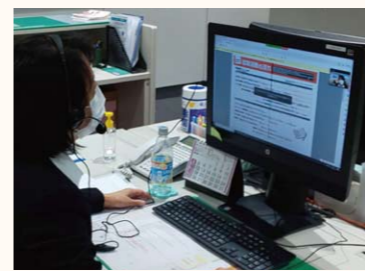
就職指導課インフォメーション

コロナ禍での今年の就職活動
就職指導課による新たな取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大は、今年の就職活動にも大きな影響を及ぼしました。就職指導課では、オンラインでの個別相談や各種オンラインセミナーの開催をはじめ、学生一人ひとりに寄り添った支援を続けています。

対面式からオンラインへ企業の採用活動が一変

2021年3月卒業予定の学生に対して企業の採用活動は概ね、採用選考を対面方式からオンライン方式に切り替えるといった対応により、非常事態宣言中は採用活動を一時



担当職員が学生と画面共有を行い、1対1の個別相談を行っています。わからないことや不安なことなど、まずは気軽にご連絡ください。

中断したものの、解除後は順調に進めているものと推察しています。一方で一部の業界では、報道でもありますが、採用予定数に達しないうちに採用活動を終えたり、採用を見送る企業がありました。公務員試験については受験先によって試験日程が大きくずれ込んだことで例年より合格発表が遅くなっています。

オンラインでの双方向型支援を拡充

就職指導課では3月から就職活動中の学生の皆さんに対して、個別相談についてはオンライン上でエントリシート・履歴書の添削をはじめ、模擬面接、業界研究・企業研究のアドバイスを行ってきました。前学期は入構禁止のため、就職支援は全てオンライン上でセミナー、ガイダンス、個別相談を実施し、図書の貸出や履歴書・封筒については郵送を行いました。

後学期についても就職支援については全体向けには「いつでも視聴できるオンデマンド方式」と「学生と掛け合いができるライブ配信方式」を組み合わせたしながら行い、個別向けにはテレビ会議ツール「Zoom」、

「meet」を使用し、オンライン上で行うべく予定です。一方的な支援ではなく学生の進捗を聴きながら双方向型で支援を行っていきます。行事のお知らせはポータルシステムでお知らせしますのでご確認ください。

就職活動が早期化する3年生、1・2年生へ

3年生の皆さんは後学期か



形式によるさまざまな対話形式によるさまざまなセミナーを行っています。この日は「これまでの就活の活の活の違いは」。

就職活動についての相談、問い合わせ(就職指導課)
shushoku.law@nihon-u.ac.jp

学生の皆さんに聞きました

コロナ禍でどんな毎日を過ごしていましたか？

緊急事態宣言中のステイホームから、オンライン授業、オンライン就活……。学生の皆さんはコロナ禍の中で、今できることに必死に立ち向かってきました。オンライン授業の受講者コメントをくれた学生さんを中心に、withコロナの時代を生きる彼らのリアルな体験談を聞きました。

法律学科3年
佐治 穂夏さん



オンラインでの就職活動 不安はありますが、がんばります！

アルバイトが大幅に減り、友人と会うことも控えて家で過ごしていました。オンライン授業では、1日のほとんどを課題に使う日もありました。

就職活動はすでにオンラインでのインターンシップをいくつか体験しました。来年にはオンラインでの選考が当たり前となるなかで、オンラインで企業側はどこに注目しているのか、実際に訪れることがほぼないまま企業をどう選んだら良いかなど、さまざまな不安があります。就職指導課が総合就職ガイダンスをアーカイブ配信にくださるなど、昨年までと差ができないように提供してくださるのは助かります。

公共政策学科1年
岡 ひなのさん



新生生にとって一番つらかったのは 通学できない、友人も作れないこと

私は将来公務員を目指して公共政策学科に入学しました。自分なりに大学生活を想像していましたが、やはり通学できないことで友人が作れないのが一番つらいことでした。新生生なので大学に知り合いもおらず、履修登録など初めての経験でありながら相談相手がいないのは不安でした。

こうした中で少しでも同級生との関係を築こうと、オンラインのライブ授業ではできるだけ発言したつもりです。後学期は先生たちのご配慮によりディスカッションを伴うライブ授業が増えたため、今できる環境の中で人間関係を作っていきたいと思います。

政治経済学科4年
金山 玲さん



コロナ禍で就活に挑む3年生へ まずはしっかりと「準備」しよう

就職は電気設備の資材メーカーに内定をいただきました。今年就職活動は、説明会や面接が途中からすべてオンラインに切り替わってしまったり、コロナの影響で志望する会社の新卒採用がなくなるのではという不安があったり……。とにかく友人と就活に関する情報交換を頻繁に行いました。

来年の採用は例年より厳しいと考えられるので、まずはしっかりと「準備」することが大事だと思います。どんな仕事をやりたいか、それを実現できる会社はどこか。自分の就活の土台が確立できればコロナ禍の就活も乗り切れると思います。がんばってください。

経営法学科2年
王イチシンさん



祖国に一時戻ることも考えましたが 日本に残ることに決めました

中国湖南省出身で、2019年4月に法学部に入学した留学生です。経営法学科を選んだのはグローバル化する企業活動の法知識と経営知識の両方を学び、将来国際社会で活躍したいと思ったからです。

東京でコロナの感染拡大が始まったときは、中国に一時戻ることも考えましたが、様子を見つつ、日本に残ることに決めました。ただ、自宅のパソコンの前で長時間勉強するのが日常となり、友達とも会えなくなったので、テレビ電話を通じて一緒に課題をやったりしています。祖国の友人とは、SNSなどを通じてコミュニケーションをしています。

新聞学科3年
渡邊 心さん



コロナ禍だからこそできる さまざまな活動に取り組みました

3月に静岡の実家に帰省したのですが、東京でコロナが感染拡大して戻れなくなり、せつなく時間ができたので、祖父の戦争体験を本にまとめる活動を始めました。内容は祖父が書いた体験談に加えて、それをのこす意味や重要性を記述したものです。

ほかにも、テレワークやオンライン授業で困っている人を対象にしたICT(情報通信技術)活用のオンラインイベントを開催したり、初のオンライン開催となった「マスコミ・メディア就活セミナー」ではシステム設計・運用を担当するなど、コロナ禍ならではのさまざまな活動に取り組みました。

就職活動は10社以上のオンラインインターンシップに参加しました。社風を肌で感じられないデメリットはありますが、首都圏も地元も気軽に参加できるメリットもあります。引き続きがんばりたいと思います。

渡邊さんが祖父の戦争体験を冊子「人生の語りから一戦後75年の記憶」にまとめた活動は、地元・静岡の新聞やテレビでも大きく取り上げられた。「戦争体験者が減るいま、直接体験が聞けない後世にリアリティを持ってもらう事と、身近に体験者がいる人に書き残してもらう事が目的です」



(静岡新聞 2020年7月6日朝刊掲載)

法律学科4年
原 智織さん



留学先のドイツから3月に緊急帰国 ドイツのオンライン授業を日本で受講

大学本部の交換留学で2019年10月から1年間の予定でドイツのヨハネス・グーテンベルク大学に留学していました。しかし、コロナの感染拡大で3月14日に日本大学から帰国指示が出て緊急帰国。3月18日からドイツの緊急事態宣言が施行されたのですが、私はその前日に帰国便に乗ることができました。

帰国後は、ドイツの学生向け授業も留学生用の授業もオンラインで開講されたため、日本で両方受講しました。ただ、ライブ授業は現地時間のため、日本時間では18時半～22時半の受講となり、昼間は法学部の授業も受けていたので、かなりハードな生活でした。就職活動は、帰国後から5月半ば頃まではWebテストやESの書き方などの勉強をして、その後、本格的に始めました。金融系の企業から内定をいただきました。



留学中の12月、大学のあるマインツで開催されたクリスマスマーケットにて。美しくライトアップされ、さまざまな出店が並ぶ。コロナ感染拡大で留学生活半分での帰国となったが、世界各国の友人たちと多くの思い出ができた。



政治経済学科
浅野一弘 教授
アサノ カズヒロ

専門分野
政治学、行政学

担当授業

日本政治論Ⅰ・Ⅱ、アメリカ政治論、
政治経済専門研究A・B、政治経済原書研究A・B
ゼミナール(日本政治論)

学生へのメッセージ

皆さんは、可能性にあふれています。その可能性をひろげていけるか、せめてしまうかは、皆さん自身にかかっています。どうか、“やってやってやりまくれっ!”の心意気で、悔いのない大学生活を満喫していただければ、と思います。



法律学科
三隅 諒 助教
ミスミ リョウ

専門分野
刑法
(とくに司法作用に対する罪や
犯罪収益規制について研究)

担当授業

刑事法特殊講義ⅡA・ⅡB、
刑法Ⅱ

学生へのメッセージ

皆さんは刑法や法解釈というと、どんなイメージがありますか。いろいろな解釈があって、「これが良さそう」という感じでしょうか。法解釈には、そのひとつで関係者の一生を左右しかねない、極めてシビアな側面があります。刑法の世界は、その最たるものです。ぜひ、講義では、刑法や法解釈の怖さと面白さを味わっていただければと思います。



法律学科
山田孝紀 専任講師
ヤマダ タカノリ

専門分野
民法
(とくに財産法・債権法)

担当授業

民法基礎演習[法曹コース]、
民法Ⅰ(民法総則)、民法総則、
物権・担保物権法、法学Ⅱ
ゼミナール(民法)

学生へのメッセージ

授業では、具体例をあげて分かりやすく説明したいと思います(関西弁が時々出ます)。まずは民法に興味を持ってもらえると幸いです。今年は対面授業が困難ですが、皆さんと直接お会いできる機会を楽しみにしています。



法律学科
宮崎裕介 准教授
ミヤザキ ユウスケ

専門分野
会社法、金融商品取引法
(とくに、フリーキャッシュフローの
株主への分配に係る法規制
について研究)

担当授業

商法Ⅱ(商取引法)、商法Ⅲ(支払システム法)、
経営法学特別講義
ゼミナール(会社法および金融商品取引法)

学生へのメッセージ

Keep looking up...That's the secret of life...
上を見続けよう、それが人生のコツだ。
By Charles. M. Schulz(スヌーピーの作者)
今は大学生の皆さんにとって大変な時期かもしれませんが、そのような時だからこそ、上を向いて生きることが大切なかもしれません。



法律学科
南 由介 准教授
ミナミ ユウスケ

専門分野
刑法
(とくに故意論・錯誤論について
研究)

担当授業

刑法Ⅰ[法曹コース、法職課程]
ゼミナール(刑法)

学生へのメッセージ

今年はこんな状況ですが、大学4年間はとても貴重な時間です。将来自分になりたいものに向けてしっかりと考え、勉強だけでなく他のことにも時間を使い、卒業する頃には楽しかったと思える学生生活をぜひ送ってください。



法律学科
出雲 孝 准教授
イズモ タカシ

専門分野
西洋法制史、ローマ法
(とくに所有権について研究)

担当授業

西洋法制史Ⅰ・Ⅱ、
ローマ法Ⅰ・Ⅱ
ゼミナール(立法の歴史)

学生へのメッセージ

「不易流行」という俳諧用語があります。時代を通じて変わらないものと、そのときどきで変化するものとは、根元において一である、という理論です。法の歴史においても普遍と多様との交錯があり、そこに焦点をあてていきたいです。



経営法学科
池田直史 准教授
イケダ ナオン

専門分野
ファイナンス
(とくにコーポレートファイナンス)

担当授業

ファイナンス論Ⅰ・Ⅱ
インベスター・リレーションズⅠ・Ⅱ
経営学Ⅰ・Ⅱ
ゼミナール(コーポレートファイナンス論)

学生へのメッセージ

表面的な知識だけでなく、ファイナンスという学問分野の考え方を伝えてできればと思います。



新聞学科
山口 仁 准教授
ヤマグチ ヒトシ

専門分野
ジャーナリズム研究、
マス・コミュニケーション研究

担当授業

新聞学基礎、メディア理論、
メディア・テキストの基礎、ニュース英語Ⅰ・Ⅱ
ゼミナール(メディア・ジャーナリズム理論)

学生へのメッセージ

私はジャーナリズム研究を政治学や社会学の一領域として考えて研究・教育しています。メディア企業への就職を考えていない学生にぜひ学んでもらえればと考えております。



政治経済学科
窪田悠一 准教授
クボタ ユウイチ

専門分野
比較政治学、国際関係論
(とくに途上国における内戦・紛争について研究)

担当授業

東アジア政治論Ⅰ・Ⅱ、計量政治学、
政治経済原書研究A・B
ゼミナール(実証的な社会科学研究)

学生へのメッセージ

大学におけるさまざまな活動を通じて、社会における問題や課題を自ら発見し、見極める力をつけてほしい。



政治経済学科
竹本 亨 教授
タケモト トオル

専門分野
公共経済学、行動経済学

担当授業

公共経済学Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、
経済学Ⅰ・Ⅱ、政治経済原書研究A・B、
ゼミナール(公共経済学)

学生へのメッセージ

私が研究している行動経済学は、心理学の要素を取り入れた新しい経済学です。なぜその商品を買ったの?と改めて考えると、私たちの行動は不思議なことばかりです。そのような人々の行動を研究し、社会に役立たせる方法を考えています。

法学部・大学院法務研究科 2020年度 新任教員紹介

2020年度より法学部および大学院法務研究科に

新たに16名の教員が着任されました。

各先生から学生の皆さんへのメッセージをいただきました。



大学院法務研究科
林 誠吾 助教
ハヤシ セイイチ

専門分野
民事訴訟法
(とくに暗号資産(仮想通貨)に
係る法的紛争解決手続の在り
方について研究)

担当授業

※本年度は授業を担当しません。

学生へのメッセージ

私は、研究活動を行うとともに、実務家(弁護士)としても活動しています。学生の皆様には、普段、教科書等で勉強している抽象的な法律が、現実の社会でどのように生きているかということをお伝えすることによって、法学の面白さを実感していただければと考えております。



大学院法務研究科
大島隆明 教授
オガサワラ タカヒサ

専門分野
刑事訴訟法、刑法
(実務家(裁判官)として長年刑事
裁判に携わった経験を生かし、刑
事訴訟法関係では上訴制度、公
判前整理手続、通訳制度等を研
究。刑法では量刑を中心に研究)

担当授業

刑事訴訟法、刑事訴訟法総合
刑事訴訟実務の基礎、刑事法系演習Ⅱ
刑事事実認定論、法曹倫理

学生へのメッセージ

刑事法は、企業法務や弁護士業務では扱うことが少ない分野ですが、扱う事象が犯罪ですので、初学者でも比較的議論がしやすく、法的な思考力を養うには適した科目であると思います。なるべく、多角的な視点からの法的分析能力を養えるような授業にしたいと考えています。



外国語科目/英語
ジェルソ ジョー 助教
GELUSO Joe

専門分野
応用言語学
(とくにコーパス言語学分析、連
語表現と第二言語習得)

担当授業

国際研修ⅠA・B、
英語A・B、
Listening&Speaking IAB・IIAB・IIIAB

学生へのメッセージ

私は言語の学習と教育に興味があります。私は言語を社会の中でコミュニケーションをとりながら人と人がお互いに繋がる手段と考えています。世界中の人々と交流する機会を広げるために、皆さんに協力できることを心から楽しみにしています。



総合科目
前嵩西 一馬 助教
マエタケニシ カズマ

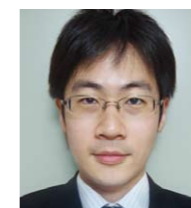
専門分野
文化人類学、沖縄研究

担当授業

文化人類学、
社会文化論A(沖縄表象文化論)、
社会文化論B(マイノリティ・スタディーズ)

学生へのメッセージ

共同体は法と秩序によって運用されます。明文化されないコードとしての秩序(=文化)を抽象的な概念と具体的な事象の間に感じ取り、「これをやれば全てよし」「あれを覚えれば大丈夫」といった案配ではない学びの豊かさに触れましょう。



公共政策学科
小田勇樹 専任講師
オダ ユウキ

専門分野
公共経営、公務員制度、NPM

担当授業

公共経営論、
公務員制度論
ゼミナール(公共組織のマネジメント(経営))

学生へのメッセージ

講義を通じて、公共経営と民間経営の違い、公共特有の難しさ、学問の面白さを皆さんにお伝えできればと考えております。このような環境ではございますが、少しでも良い講義ができるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



経営法学科
齋藤 崇 助教
サイトウ タカシ

専門分野
知的財産法
(とくに商標法および著作権法
について研究)

担当授業

知的財産法D(著作権)Ⅰ、
産業技術と知財D(コンテンツ)、
基礎経営法学

学生へのメッセージ

学生の皆さまも、日々、知的財産に関するさまざまな話題や出来事などに接することが多いと思います。授業では、知的財産法の知識を習得していただくことはもちろん、さまざまな諸問題に関して知的財産法がどのように関係しているのかということについて、一緒に考えていきたいと思います。